

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)		* 一般小売店〔紙類〕（経営者）	* 来客数の動き	* ・住宅街から客が来るようになり、全体的に景気が良くなっている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	お客様の様子	・ゴム印の注文は少ないが、印鑑注文は順調である。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ミセスゾーンや定価商品の動きがあり、客単価が上昇している。来客数、予算共に前年をクリアしている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・高値が続いている野菜の動きが鈍い。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・荒天のため魚が入荷不足であるが、野菜を中心に販売点数が伸びており、全体で前年を5%程度上回っている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・依然として来客数は減少傾向で苦戦が続いているものの、ネット注文は好調に推移しており、総体的に販売点数は増加傾向である。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・中食需要が伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・月前半の大雪の影響でどこの店も商品の入荷が不安定であったことから、当店での上りは伸びている。また来客数は前年の97%と減少する一方で、売上は105%と伸びている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	単価の動き	・付加価値の高い食品が売れている。特に、ダイエット食品や電子たばこといった健康がキーワードの商品が売れている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・2月の販売量は前年比105%と良くなっている。
		その他専門店〔土産物〕（店長）	単価の動き	・地元産品の中でもここでもしか手に入らないアワビなどの高級魚介類、ブランドいちご、かんきつ類などの商品が、高くても売れている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・米国の新大統領就任による影響に不安があったが、それほど日本に大きな打撃はない様子で、客の雰囲気は明るくなっている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・雪の影響で落ち込んだ客足が、気温上昇に伴い伸びている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・来年度の申込が若干上向いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・人の動きは少ないが、売上は伸びており前年の103%である。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子が良くなっている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅販売では季節の変わり目に客が動き始める傾向があるため、来場者数が増えている。
		商店街（理事）	来客数の動き	・生鮮品の価格上昇などの影響で、商店街から客足が遠のいている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・1～2月は悪天候が続き、観光シーズンでもないので客の動きは少なく、地方ではデフレが続いている。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・低調に推移している。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	単価の動き	・客単価、買上点数共に横ばいである。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・2月の売上は大雪の影響や前年より営業日数が1日少なかったこともあり、前年比マイナス10%程度になっている。化粧品や服飾、呉服以外の部門の売上は前年を下まわり、来客数も同じ状況である。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・9月の地元プロ野球チームの優勝セール以降、客は価格に対して厳しくなっており、衣料品だけでなく食品にもその傾向が強い。
	百貨店（購買担当）	お客様の様子	・春物の動きはまだ鈍く、衣料品関係は厳しい状況が続いている。宝石、時計、絵画などの高額商品を購入する客もおり、ぜいたく品と日用品の買い方を工夫している。物産展は好調で、売上は前年を上回っており、食に関して客の購買意欲は失せていない。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・買上点数の前年割れが続いており、客の節約志向は続いている。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価に大きな変化はない。	

スーパー（総務担当）	単価の動き	・天候等の影響があったが、来客数、客単価共に前年並みに推移している。
スーパー（財務担当）	来客数の動き	・野菜相場の下落の影響で1品単価は前年を下回っているが、既存店の来客数が前年を上回っているため、売上は前年をやや上回っている。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・今月は前年より営業日数が少なく、月前半に雪が降ったので来客数が減少している。
スーパー（管理担当）	お客様の様子	・個人消費は依然鈍く、景気回復感はない。
コンビニ（支店長）	単価の動き	・客単価が前年を超えている。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・家電の買換えサイクルが長くなっており、客は故障しないと買い換えることはなく、本当に必要な商品しか購入しない傾向である。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年の90%前後で、客単価も上昇しない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は横ばいであるが、売上は伸びている。
家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・シングル商戦が盛り上がらない。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・良い商品があるのに売れない。
乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・整備入庫が土日に片寄っているが、全店舗とも来客数が多い状況が続いている。エアバッグ関連の入庫や年度末の整備数をこなすため、整備部門はフル稼働が続いている。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型車が発売となったが、総販売量は変わらない。
自動車部品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は良くもなく悪くもなく、前年とあまり変わらない。
その他専門店 [和菓子]（経営者）	来客数の動き	・来客数に大きな変化はない。
その他専門店 [時計]（経営者）	来客数の動き	・客は不要な商品は購入しない傾向にあるため、高額品を購入する客は限られている。
その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	お客様の様子	・日曜、祝日には集客がある程度見込めるが、平日には伸びない状態が続いている。客の財布のひもはそれほど固くなっているわけではないが、まとめ買いや衝動買いはない。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・正月から厳しい状況が続いている。平日はもとより、週末の個人利用、家族利用も非常に低迷している。
一般レストラン（店長）	お客様の様子	・2月は前年より日数が少ないことを考慮すると、来客数に変化はない。客から景気が良くなったという話は聞かない。
一般レストラン（外食事業担当）	お客様の様子	・今月は前年より営業日が1日少なく、来客数は前年の95～97%であるが、客単価が105%を維持しているので売上は前年をクリアしている。
その他飲食 [サービスエリア内レストラン]（店長）	来客数の動き	・高速道路の交通量が減少しているので来客数が少ない状況に変わりない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数に変化はない。
都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・今月は寒波襲来による大雪でキャンセルが続出し、雪を警戒して観光客数の伸びが鈍く、判断しづらい状況である。
都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊は国内が好調であるが、海外は欧州やアジアの個人客が減少している。レストランは悪天候の影響があったものの、ディナーが好調である。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・米国や北朝鮮の動きに影響されている。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・スマートフォン、仮想移動体通信事業者サービスなど、年度末にかけてのキャンペーンへの客の反応は悪くない。
通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・来客数に変化はない。
通信会社（総務担当）	お客様の様子	・販売動向に目立った変動がない。

テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・週末を中心に天気が悪く、来客数が減った時期はあるが、月後半は天候が回復し、前年と比較して集客に大きな変化はない。
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・前年と比較して入館者数と商品販売高に変化はない。
ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・全体の来客数に変化はないが、国内からの来客数が減少する一方で韓国からの来客数は増加している。
競艇場(職員)	販売量の動き	・売上が横ばいである。
美容室(経営者)	お客様の様子	・自動車メーカーや住宅メーカーでは、イベントなどを行っても期待するほど来客数は伸びず、営業目標値に届かないという話を客から聞く。
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・過去3年間、最低賃金額の大幅な引上げが毎年行われたが、消費につながっておらず、企業の収益悪化の要因になっている。
設計事務所(経営者)	販売量の動き	・住宅ローン金利は低い状態が続いているが、景気の先行き不安の方が勝っているため、新築住宅の引き合いが低調な状態が続いている。
住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・モデルハウスやイベントへの来場者数が依然として低調である。
商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街の通行量が減少気味で、来客数が減少している。
商店街(代表者)	単価の動き	・客の財布のひもは固く、安くならないと購入しない。
商店街(代表者)	お客様の様子	・商店街では売上が悪い店が多く、この点からも景気は下向きである。
百貨店(営業担当)	お客様の様子	・気温の低い日が続いたのでカシミア等の冬物衣料の売上は前年を大きく上回っているが、逆に2月中旬以降に拡大展開している春物新商品の動きが鈍く、売上は前年を大きく下回る見込みである。
百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・バレンタイン商戦のときに記録的な大雪となり、交通機関の乱れや農作物への被害などもあったため消費活動が冷え込み、今月の来客数と売上は前年より2けた減少して厳しい状況である。プレミアムフライデーは地方での実施企業がほとんどない。
百貨店(売場担当)	お客様の様子	・消費動向が大きく変化しており、特に婦人服の落ち込みが大きい。
百貨店(売場担当)	販売量の動き	・ラグジュアリーブランド催事の集客は良好であるが、100万円以上の商品が売れないので外商としては厳しい状況である。
百貨店(外商担当)	販売量の動き	・どの分野でも販売量、客単価、1品単価共に減少している。来客数は横ばいであり、客の購買意欲の低下と節約志向が表れている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・客は来店頻度を減らして支出を少なくしている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・3か月前までは来客数が前年の101~102%であったが、1~2月は前年の99.8%になっている。
スーパー(営業システム担当)	お客様の様子	・客は価格を大幅に下げた特売商品を購入する傾向にある。
家電量販店(企画担当)	来客数の動き	・来客数が前年の90%で売上も低下している。
住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・1月に初売りを行ったので、2月は来客数が減少している。
その他小売 [ショッピングセンター](所長)	来客数の動き	・衣料品を中心に来客数が減少し、1月末に退店した店舗区画はまだ空いている。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・例年にない大雪が客の来店に支障となっている。
スナック(経営者)	来客数の動き	・今月は客足が鈍く、このままでは店を維持するのが難しいところまできており、夜の飲食業は非常に厳しい状態となっている。
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・インバウンド団体の宿泊受注が低調で、正月明け以降、レストランの来客数も減少しており、平日の居酒屋などでも客足が落ちている。周辺的大型ショッピングセンターも土日以外は閑散としており、寒さによる一時的な消費効果があったものの、来客数は減少している。
タクシー運転手	お客様の様子	・2月前半の豪雪で人の動きが悪くなり、稼働が良くない。
通信会社(広報担当)	単価の動き	・客は常に安いものを求めており、価格が下がらない限りは購入しない。

	テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・1月に続き2月も大寒波の影響で雪が積もり、車の立ち往生や高速道路の通行止め等がメディアで取り上げられたことにより、客の観光への意欲が減退している。
	美容室(経営者)	それ以外	・売上と来客数が減少している。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・来客数が伸びない。
	設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・リフォームや新築といった住宅関連の仕事が住宅メーカーに流れていて、設計事務所は受注に苦戦している。
x	一般小売店〔眼鏡〕(経営者)	来客数の動き	・大雪の影響で人足が鈍くなっている。
x	スーパー(店長)	来客数の動き	・客の奪い合いが激化しており、競合店のチラシで来客数が左右される。
x	乗用車販売店(店長)	販売量の動き	・過去に例がないほど販売量が落ち込んでおり、新型車を入れて前年の75%、新型車を除けば前年の55%で推移している。
企業 動向 関連  (中国)	鉄鋼業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・電子材関係、自動車部品関係で受注が急増している。
	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・地元の大手自動車メーカーが好調で、それに付随して当社の受注も好調である。
	不動産業(総務担当)	それ以外	・来客数、成約件数共に増加している。
	農林水産業(従業者)	それ以外	・1月と10月を比較すると、水揚げ数量は640tの増加、水揚げ金額は1億円の増加である。増加原因は大中型まき網漁と中型まき網漁の増加である。
	鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・建築関連で大型物件の進ちょくが見込まれるので需要は上向き傾向である。各社とも稼働は高水準になりつつある。
	電気機械器具製造業(総務担当)	取引先の様子	・新学年に向けて教育端末の受注が好調である。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・利幅の薄い工事が減少している。
	輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・電子商取引の荷物が予想以上に伸びており、数量制限をしている。
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・客の年度末販売促進や新年度販売促進の準備から受注の状況が少し上向きになっている。
	木材木製品製造業(経理担当)	取引先の様子	・新設住宅着工戸数が前期を超えているが、職人不足でこれ以上伸びることは望めないため景気に変化はない。
	化学工業(総務担当)	それ以外	・決算の仕上がりでは減収増益であり、利益は上がっていても売上が伸びないと景気改善にはつながらない。
	窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大型案件や緊急対応の注文はないが、一定水準の受注で推移している。
	金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量が生産能力の60%しかなく厳しい状況が続いている。
	電気機械器具製造業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・個人消費節約ムードが依然漂っており 購買の勢いは鈍化しており、なかなか設備投資に踏み切れない。
	輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量は前年と同程度になっている。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・技術職員がフル稼働の状況が続き、予定物件で手一杯の状況である。
	通信業(営業企画担当)	受注量や販売量の動き	・来期の設備投資に関する引き合いが前年並みとなっており、大きく売上増につながる案件が少ないが、現状のインフラ活用に向けた検討は行われている。
	通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・通信設備などの更改も例年と大差なく、特需もない。
	金融業(貸付担当)	取引先の様子	・通関貿易額を前年比で見ると、輸出はプラスに転じたが、輸入はマイナスが続いている。
	金融業(融資企画担当)	取引先の様子	・自動車部品メーカーの受注と操業は高水準を維持している。
	食料品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・市場価格が低迷し受注数量が減少している。

	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・受注量が予想を下回っている。
	化学工業(経営 者)	取引先の様子	・継続的な中国の景気後退感で主要取引先が安価な中国品と競合して生産調整を余儀なくされており、この状況は当面継続する。
	一般機械器具製 造業(経理財務 担当)	受注量や販売量 の動き	・国内需要の減少と輸出の落ち込みで販売量が前年を下回っている。
	輸送用機械器具 製造業(財務担 当)	取引先の様子	・引き続き新規案件が乏しく、手持ち工事量の減少とともに景況感は悪化している。
	その他製造業 [スポーツ用品] (総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・国内販売が低迷しており、受注量が減少している。国内製造の商品ではコストに見合うものができなくなっている。
	輸送業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・労働時間管理と労働力不足が影響し、年度末の商戦期へ向けての動きに苦慮している。
	会計事務所(職 員)	取引先の様子	・公共投資が前倒しされた影響で、インフラ関連業界は例年に比べて2月の仕事はあまり忙しくない。また大型ショッピングセンター開店の影響で、アルバイトの確保が難しくなっている。一部業界での人手不足の状態はまだ続いているため、受注獲得に積極的に出られない顧問先もある。
	x	*	*
雇用 関連	-	-	-
(中国)	人材派遣会社 (支店長)	求職者数の動き	・求人に対しての求職者からの応募数が増えている。特に4月以降の転職に積極的な人が多い。
	求人情報誌製作 会社(広告担 当)	雇用形態の様子	・派遣、パート、アルバイトで賄っていた求人を正社員に切替える企業が増加している。
	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・有効求人倍率は上昇を続けている。業種で差異はあるものの、正社員に限ると当県では最高を更新している。
	職業安定所(産 業雇用情報担 当)	求職者数の動き	・新規求職者数が3か月前と比較して21.6%増加している。例年、求職者数が増加する時期であるが、その中でも今年是在職者が52.9%と大きく増加している。求人倍率が良いので転職しようと申込に来る人が多い。
	職業安定所(産 業雇用情報担 当)	求人数の動き	・新規求人数は3か月ぶりに減少しているが、有効求人数の増加と新規求職者数と有効求職者数が減少となっているため、月間有効求人倍率は今年度最高値を更新している。人手不足の状況は引き続き各業種に広がりを見せており、求人が滞留している状況である。
	人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・派遣受注は順調に確保できているが、新規登録者の確保に苦戦しており、受注残が過去最高水準で推移している。
	職業安定所(所 長)	求人数の動き	・新規求人は土産菓子製造や乳製品製造が好調な製造業と、鳥取県中部地震の影響も一段落した宿泊業からの求人が大幅増となっている一方で、その他の業種は横ばいとなっていることから、求人全体が微増に留まっている。
	職業安定所(雇 用開発担当)	求人数の動き	・新規求人数は高水準で推移しているが、充足せず期限切れになった販売職や飲食サービス関係の求人の更新が多いため、景気の動向ははっきりとしない。
	民間職業紹介機 関(職員)	求職者数の動き	・リストラや事業縮小といった消極的な理由ではなく、現職よりも好待遇を求めるといった積極的な理由で求職者数は微増傾向で、現状を好機と捉えている。
	民間職業紹介機 関(人材紹介担 当)	求職者数の動き	・求職者の動きに変化はなく、若者支援の取組を行っているが、正社員よりもアルバイトを選択する若者が多い。雇用の活発化が消費を動かす要因であるため景気は変わらない。
	学校[短期大 学](学生支援 担当)	求人数の動き	・求人数や求人内容に変化はない。
	人材派遣会社 (経営企画担 当)	求職者数の動き	・正社員志向が高まってきており、企業も積極的な社員採用を進める傾向にあることから、派遣求人へのエントリー数は前年を下回っている。今月末の大手スーパーの閉店が人材流動に拍車をかけているが、短時間パートを選択する傾向が強い。
	x	-	-